

# 国家基本政策委員会合同審査会ニュース

【第204回国会】令和3年6月9日（水）、第1回の合同審査会が開かれました。

## 1 国家の基本政策に関する件

- ・枝野幸男君（立民）、片山虎之助君（維新）、玉木雄一郎君（国民）及び志位和夫君（共産）が、菅内閣総理大臣と討議を行いました。

（討議者及び主な討議内容）

### 枝野幸男君（立民）

- （1） 今年3月に行った緊急事態宣言の解除が早過ぎたことを反省し、第5波を防ぐためにも現在発令している宣言の厳格な解除基準を設ける必要性
- （2） 6月7日の参議院決算委員会で、菅内閣総理大臣が東京オリンピック・パラリンピック競技大会について「国民の命と健康を守るのが開催の前提だ」と発言したことの意味
- （3） 30兆円規模の補正予算を速やかに編成する必要性
- （4） 今国会の会期を大幅に延長した上で、国会を挙げて新型コロナウイルス感染症に立ち向かう必要性

### 片山虎之助君（維新）

- （1） 衆議院を解散せずに、任期満了による総選挙を行う可能性
- （2） 財政民主主義の観点から、予備費ではなく、補正予算を編成する必要性
- （3） 東京オリンピック・パラリンピック競技大会の開催都市である東京都と政府の連携状況

### 玉木雄一郎君（国民）

- （1） 新型コロナウイルス感染拡大防止の水際対策
  - ア 「ワクチンパスポート」及び「デジタル証明書」を東京オリンピック・パラリンピック競技大会で先行導入する必要性
  - イ GPSの位置情報を活用しない訪日外国人向けスマートフォンアプリの有効性
- （2） ワクチン接種と同時に大規模補正予算を編成する必要性

### 志位和夫君（共産）

- （1） 専門家から感染拡大リスクが指摘される中、国民の命を危険にさらしてまで、東京オリンピック・パラリンピック競技大会を開催する理由
- （2） 東京オリンピック・パラリンピック競技大会を中止して、あらゆる力をコロナ対策に集中させる必要性